総合配信システム

「IP_STUDIOⅢ」

操作説明書

V.1.11

ITNEWS

目次

総合配信システム 1
1. はじめに 4
2. システム概要と主な構成仕様 4
2.1 システム概要 4
1） デジタルサイネージモニタ 4
2） スケジュール PC 4
3） コンテンツ配信サーバー 4
2.2 配信機器（送出側装置）の起動と終了 5
1） スケジュール PC 5
2） コンテンツ配信サーバー（通常納入時システム設定） 5
2.3 スケジュール操作の流れ 5
3. 画面構成 6
3.1 メイン画面 6
3.2 デザイナー画面 6
3.3 コンテンツスケジューラー画面 6
3.4 ターミナルスケジューラー画面 7
3.5 アップロード画面 7
4. 新規スケジュールデータの作成と登録（デザイナー画面） 7
4.1 スクリーンの設定 7
4.2 イメージオブジェクト設定（静止画・動画） 7
4.3 トラック長の設定 8
4.4 編成設定（コンテンツ登録） 8
1） コンテンツファイルリストからドラッグ＆ドロップ 8
2） 「ビューエディタ」を利用する 10
4.5 編成設定（テロップの挿入） 11
1） テロップエリアの作成 11
2） テロップのスタート 12
3） テロップ文字の登録 12
4） テロップの表示設定 12
5） テロップの終了 13
4.6 デザイナーのプレビュー 13
4.7 デザイナーの保存 13
4.8 1日の放映スケジュールの作成 14
1） サービス時刻の設定 14
2） ターミナル電源設定 14
3） ターミナルボリューム設定 14
4） 1日の番組編成の設定（基本） 15
5） 番組編成の設定（簡易スケジュール） 16
6） コンテンツスケジューラーのプレビュー 16
7） コンテンツスケジューラーの保存 16
4.9 デジタルサイネージの端末（STB）への個別スケジュール設定 17
1） 配信グループ指定 17
2） スケジュール設定 17
3） ターミナルスケジューラーの保存 17
4.10 サーバーへのアップロード（手動アップロード） 18
1） アップロードグループの選択 18
2） アップロードの開始 18
5. 番組編成の変更･修正 19
5.1 デザイナーの選択 19
5.2 編成データ更新･修正（コンテンツ入替） 20
1） コンテンツファイルからドラッグ＆ドロップ 20
2） ビューエディタ利用時 20
5.3 タイムラインの確認（テロップ開始/終了の位置確認） 21
5.4 サーバーへのアップロード 21

6. 端末監視（モニター機能） 22
6.1 稼働ログ情報取得設定 22
6.2 接続情報 22
6.3 ターミナルログ 22
6.4 ターミナル操作 22
1） 操作手順 22
6.5 割込み操作 23
1） 事前設定 23
2） 割込みファイルのアップロード 23
7. アップロード 23
7.1 手動アップロード 23
7.2 自動アップロード 24
1） 事前準備： 24
2） 自動アップロード設定手順 24
8. メンテナンス 24
8.1 メンテナンス画面の起動 24
8.2 配信グループ、ターミナルの登録 25
1） 配信グループ、ターミナルの登録手順 25
2） グループ、ターミナルの修正、削除手順 25
8.3 ファイルの関連を調査 25
8.4 バージョン情報 25
8.5 コマンド送信 25
8.6 ターミナルプログラムアップデート 26
8.7 未使用ファイルの検索 26
9. サーバー設定 26
9.1 データフォルダ設定 26
9.2 サーバー設定 26
10. IP_STUDIO　機能一覧 27
11. コンテンツ対応表 29

STB（セットトップボックス）	デジタルサイネージの表示用制御機器、通常はPCのことをさします。 表示端末、ターミナルとも呼ばれます。
Windowsの操作について	各参考書などをご参照ください。 本書はWindowsの基本知識、基本操作ができる方を前提に説明させていただいております。
コンテンツとは	配信される実際のファイル、データなどを総称して呼びます。
機器構成、システム	ハードウェア、ネットワークなどのシステム構成、環境などは適時、ご利用のシステム説明書などをご参照下さい。

◇本書は「IP_STUDIOⅢ」用に書かれています

◇免責；本書によって発生するいかなる事象に関してもアイティ・ニュースは責任を持ちません。

◇著作；本書の著作権はアイティ・ニュースに所属します。

＊本書の説明用画像等は全てイメージサンプルです。

1. はじめに

本書はIP_STUDIOⅢのスケジューラ―を中心に操作説明を記述しています。ユーザーの様々な要望、コンテンツンの増加、事業拡大等に伴い、スケジュール編成作業が煩わしくなりますが、ビジュアルエディターを利用することで、コンテンツの順序の入れ替えなどの変更が格段に効率よく簡単にできます。

2. システム概要と主な構成仕様

2.1　システム概要

1)　デジタルサイネージモニタ

- 通常大型のモニタとSTBで構成されます。
- 各装置の電源ONでモニタ及びSTBが起動します。(ご利用システム構成･環境によります)
- 起動後、スケジュールに従い、コンテンツ放映を行います。
- STBは、指定した間隔でコンテンツ配信サーバーにデータ更新の確認を行います。
  更新があればダウンロードをスタートします。
- STB起動時、コンテンツ配信サーバーと時刻同期を行います。
- 常時稼動の必要があります。（システム構成によります。２４時間運用の場合など）

2)　スケジュール PC

- デジタルサイネージで放映するスケジュール編成・配信登録を行います。
- コンテンツ配信サーバーで生成したニュース、天気予報画面を保存し、コンテンツ配信サーバーにアップロード（自動）します。（ニュース、天気などを配信する場合）
- STB の放映ログを確認します。（システム運用者用）
- 常時稼動の必要があります。（２４時間運用の場合）

3)　コンテンツ配信サーバー

- スケジュール PC で登録したスケジュールデータを蓄積し、STB へ配信します。

2.2　配信機器（送出側装置）の起動と終了

1)　スケジュール PC

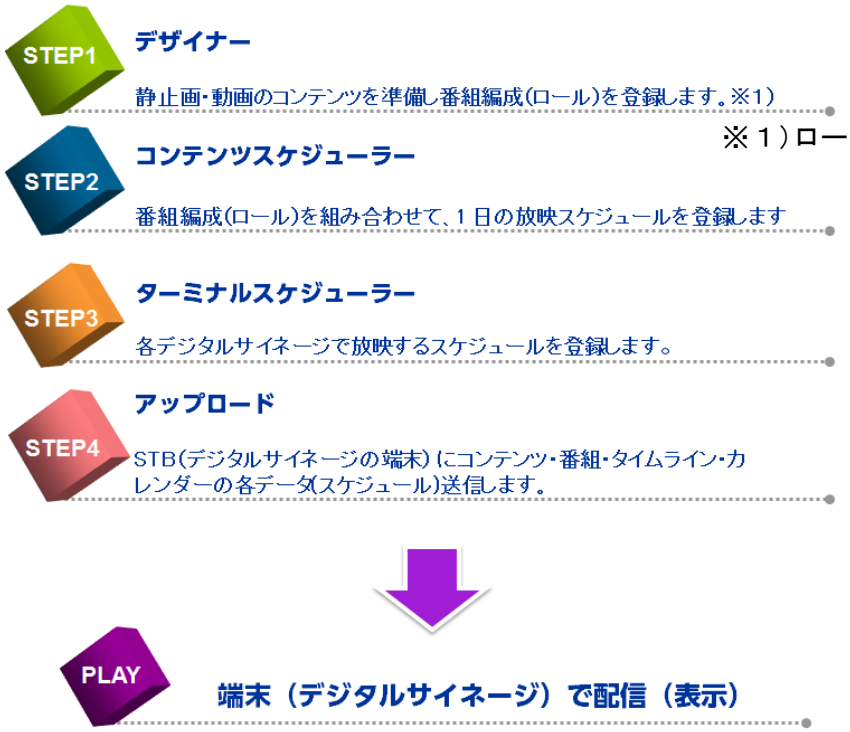
① スケジュール PC は、本体の電源スイッチを押すことで起動します。
② IP_STUDIOⅢ を起動します。（通常オートスタートに設定）
③ スケジュール PC は、Windows のスタートメニューからシャットダウン操作を行うことで終了します。

2)　コンテンツ配信サーバー（通常納入時システム設定）

コンテンツ配信サーバーは、本体の電源スイッチを押すことで起動します。（インターネット上の場合は不要）

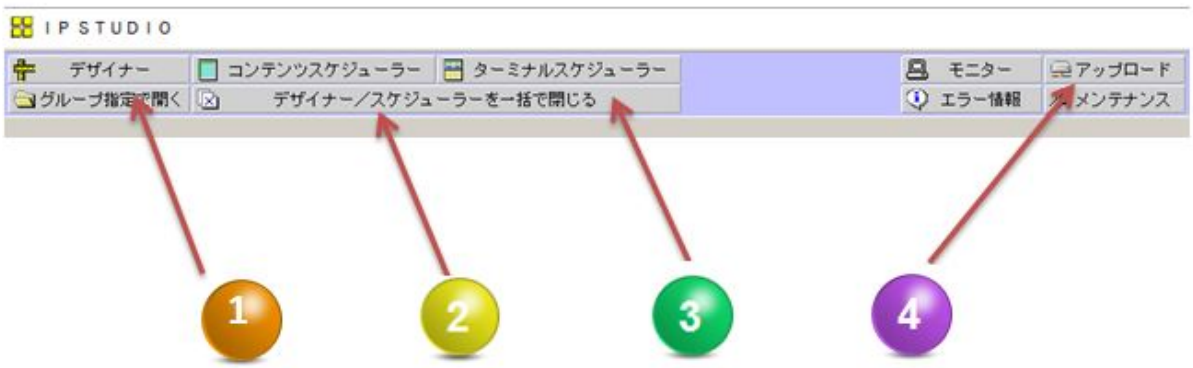
2.3　スケジュール操作の流れ

スケジュール（画面デザイン、配信編成）、アップロードの基本STEPは下記のようになっています。



※１)ロール:スケジュールの最小単です。

IP_STUDIOのメニューでは次のようになります。



3. 画面構成

3.1　　メイン画面

スケジュールソフト（IP_STUDIOⅢ）を起動するとメイン画面が表示されます。

図3.1　メイン画面

① デザイナー：　番組編成（ロール）を作成します。
② コンテンツスケジューラー：　1 日のスケジュールを設定します。
③ ターミナルスケジューラー：　端末のスケジュールを設定します。
④ アップローダー　：　コンテンツ配信サーバーにアップロードします。

※　スケジュ　フトの起動はデスクトップのIP_STUDIOⅢのアイコンボタン　で起動します。

3.2　　デザイナー画面

メイン画面の“デザイナー”タブを押すと表示されます。静止画、動画、テロップを組み合わせて、番組編成（ロール）を作成する画面です。

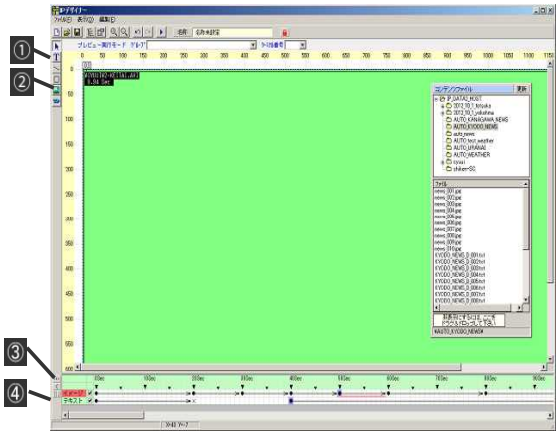


図4.2　デザイナー画面

① 文字入力　　：テロップエリアの設定をします。
② 画像・動画入力　：表示イメージエリアの設定をします。
③ トラック長設定　：番組編成（ロール）長の設定をします。
④ タイムライン　　：コンテンツの再生順序やテロップの表

（補足１）
コンテンツファイル一覧を表示するには【表示（D）】タブををクリックし、「コンテンツ一覧」を選択します。

3.3　　コンテンツスケジューラー画面

メイン画面の“コンテンツスケジューラー”タブを押すと表示されます。番組編成（ロール）を組み合わせて１日の放映スケジュールを作成する画面です。

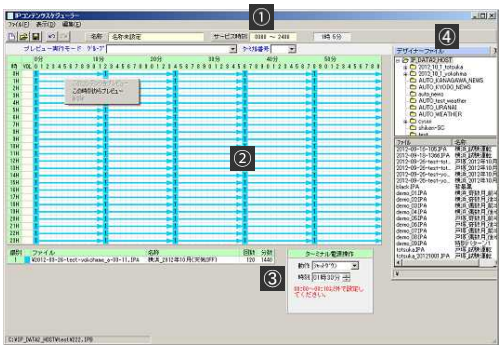
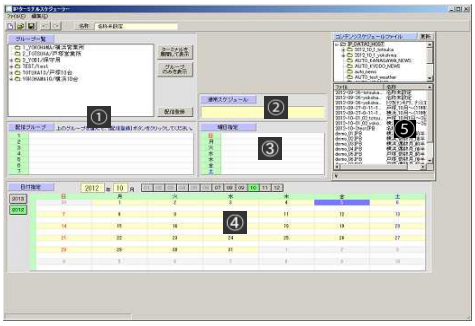


図 4.3 コンテンツスケジューラー画面

①　サービス時刻：スケジュール放映する時間を指定します。
②　番組スケジュール：1 日の放映スケジュールを表示します。
③　STB 電源操作：STB の電源 OFF 時間を設定します。（環境によります）
④　ファイル一覧：スケジュール登録できる番組編成（ロール）が表示されます。
（ロールはデザイナーで生成されます）

3.4　ターミナルスケジューラー画面

メイン画面の“ターミナルスケジューラー”タブを押すと表示されます。放映するスケジュールを設定する画面です。（デジタルサイネージ端末には予め端末番号を設定しておきます）

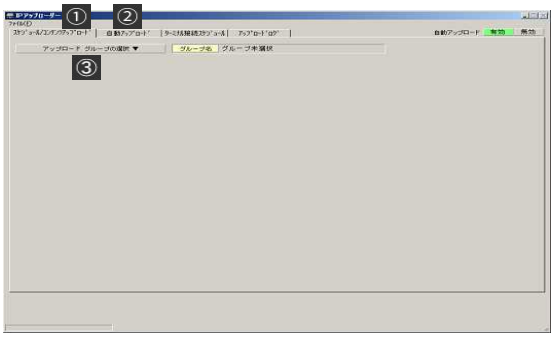


① 配信グループ設定：配信設定を行うグループを設定します。
② 通常スケジュール設定：通常表示するスケジュールを設定します。
③ 曜日指定設定：曜日指定のスケジュールがある場合に設定します。
④ 日付指定設定：日付指定のスケジュールがある場合に設定しま

図 3.4 ターミナルスケジューラー画

3.5　アップロード画面

メイン画面の“アップロード”タブを押すと表示されます。設定したスケジュールデータをサーバーにアップロードを行うと配信準備が完了します。



① スケジュール/コンテンツ：　スケジュール/コンテンツのアップロードを行います

② 自動アップロード：ニュース、天気予報などの自動アップロード設定を行います。

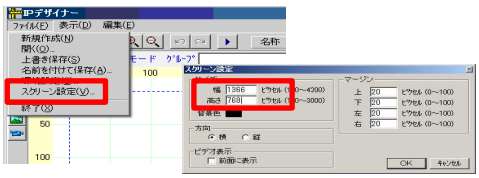
③　アップロードグループの選択：　アップロードするグループを選択します。

図3.5 アップローダ—画面

4. 新規スケジュールデータの作成と登録（デザイナー画面）

4.1　スクリーンの設定

デザイナー画面のファイル操作から「スクリーン設定」を選択すると、「スクリーン設定」画面が表示されます。「スクリーン設定」画面のサイズ設定を【幅：１３６６】【高さ：７６８】（例）に変更します。



（補足1）
FullHD画面の場合は、
【幅：1920】
【高さ：1080】
となります。

（補足2）
【デザイナー画面の拡大縮小】
設定状況を見やすくするために、
ボタンを使い、スクリーン表示を拡大、縮小してください。

4.2　イメージオブジェクト設定（静止画・動画）

1)　左側のオブジェクトリストから「イメージボタン（　）」を選択し、キャンパスエリアをクリックした後、スクリーン上でマウスを左押しの状態でスクロールすると、緑色でイメージ表示エリアが作成されます。

2)　それと同時に「イメージのプロパティ」画面が表示されます。スクリーン全体にコンテンツを表示する場合、「イメージのプロパティ」画面の設定を【左位置：０】【上位置：０】【幅：１３６６】【高さ：７６８】に設定します。設定後、オブジェクトのロックをするとアイコンが赤色に変わります。（位置がずれないように固定できます）

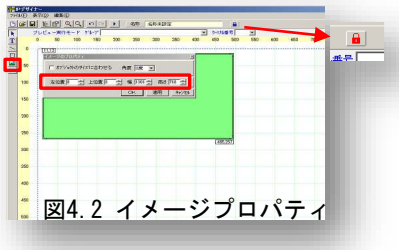
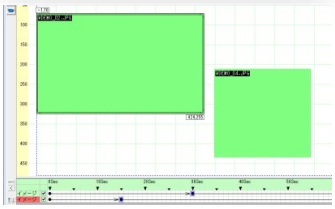


図4.2 イメージプロパティ

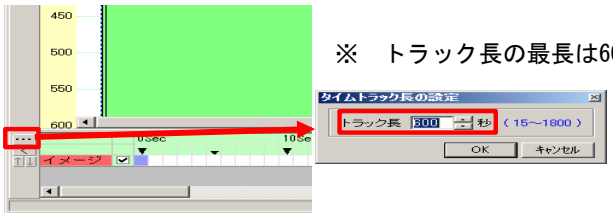
3)　イメージオブジェクトエリアの移動はマウスの左押し状態でも可能です。

4)　スクリーン上に複数のイメージオブジェクトを表示することもできます。手順は１）２）と同様です。この時タイムテーブル上に複数のイメージタイムラインが生成され、選択したイメージオブジェクトは赤色になります。



4.3　トラック長の設定

デザイナー画面の「トラック長設定」ボタン（画面左の ボタン）を押すと「タイムトラック長の設定」画面が表示されます。編成のトータル再生秒数（１トラック）を入力します。



※　トラック長の最長は60分（1800秒）です。

4.4　編成設定（コンテンツ登録）

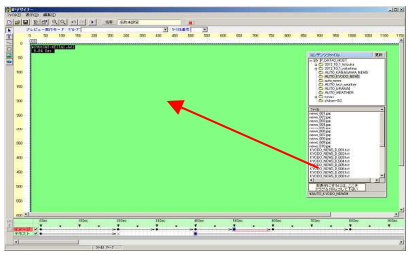
1)　コンテンツファイルリストからドラッグ＆ドロップ

①　最初の画像・動画設定

作成したイメージオブジェクトを左クリックすると、緑色のオブジェクトが二重枠になります。

同時に、タイムラインの指定イメージが赤色になり、タイムライン上にオブジェクトの現在の指定時間が紫色で表示されます。

最初は「0Sec」の場所が紫色になります。この状態で、表示したいコンテンツを「コンテンツファイル」リストからドラッグ＆ドロップします。



（補足１）

コンテンツファイル画面を表示するには、IPデザイナー画面上の「表示（D）」タブをクリックし、「コンテンツ一覧」を選択します。

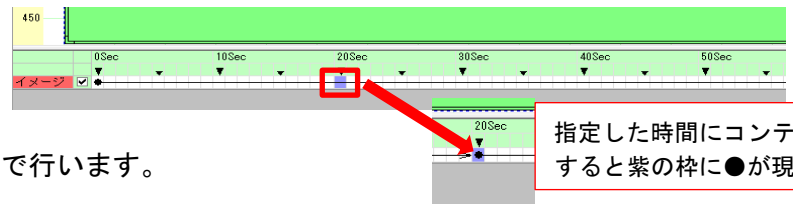
（補足２）

コンテンツがフォルダ内に格納されている場合はそのフォルダをクリックすれば、ファイルがファイルリストに表示されます。

この時、表示時間はトラックの最後まで表示されることになります。

②　２枚目以降の画像・動画設定

画像・動画を切り替えるには、次の画像・動画に切り替える時間のところでマウスを左クリックすればその時間が紫色になります。この状態で前項と同様、表示したいファイルをドラッグ&ドロップします。

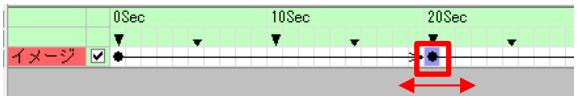


指定した時間にコンテンツを設定すると紫の枠に●が現れます。

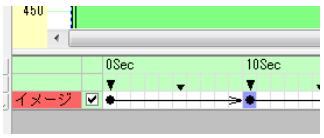
3枚目以降も同様な手順で行います。

③　再生時間の調整

タイムテーブル上で、コンテンツが変わるポイントををクリックすると紫色に変わります。
そのポイントをマウス左押しの状態で希望の表示時間のポイントまで移動します。



④　エフェクト設定



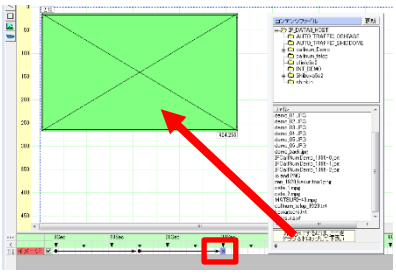
画面切替時のエフェクト設定ができます。以下の手順で設定してください。

1. タイムテーブル上で画面切替ポイントをクリック
2. 「イメージオブジェクト」上でマウスを右クリックし、「エフェクト設定」を選択。
3. 「エフェクト設定画面」で“エフェクトの種類”、“速度”、“フェードイン/アウト”時間を設定してください。
   エフェクト確認は“プレビュー”でできます。

⑤　イメージの終了

デザイナー画面のタイムライン（イメージ）で、イメージ表示の終了位置をクリックします。

コンテンツファイル一覧の非表示設定欄を、イメージ表示エリアにドラッグ&ドロップすると、イメージ表示リアが「×」印となり、イメージのタイムラインに反映されます。



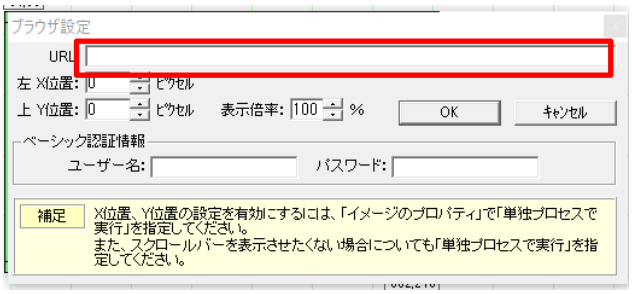
⑥　URL 登録

WEB画面を表示することができます。

イメージオブジェクト上で、マウスを右クリックし、「ブラウザ設定」を選択します。

「ブラウザ設定画面」で表示するURLを登録します。開始位置（左上）を指定してください。

ブラウザの表示幅はイメージオブジェクトの幅を設定することで指定できます。



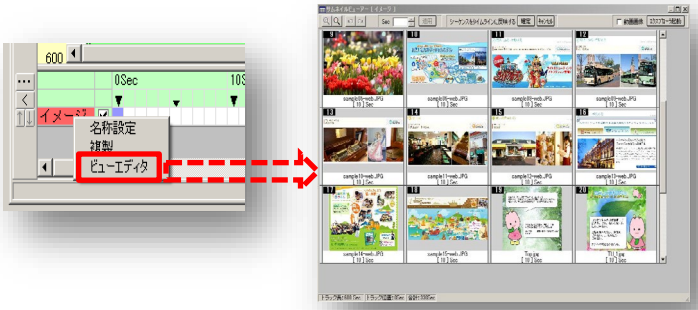
⑦　動画設定

オブジェクトのコンテンツに動画を設定した場合、タイムラインに再生時間がピンク色のバーで表示されます。（注意：一部コンテンツでは表示されない場合があります。）

補足：MP4の動画コンテンツを表示するには、拡張子を（.mp4）から（.mpg）に変更してからIP_DATA3_HOSTフォルダに格納てご使用ください。混乱を避けるため、ファイル名は（****_mp4.mpg）といったルールを適用されることをお勧めします。

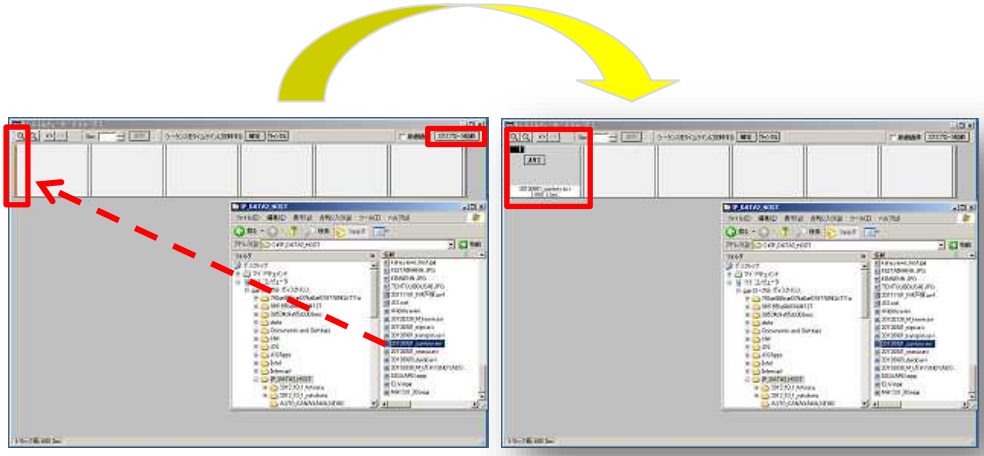
2)　「ビューエディタ」を利用する

デザイナー画面のタイムライン（イメージ）上で右クリックし、「ビューエディタ」を選択すると、サムネイルビューアー画面が表示されます。



①　コンテンツの挿入

サムネイルビューアーの「エクスプローラ起動」ボタンを押すと、コンテンツ登録可能なコンテンツフォルダーが表示されます。コンテンツをドラッグして、サムネイルビューアーの先頭に移動すると挿入箇所がオレンジ色に表示され、選択したコンテンツが先頭に挿入されます。



（注意１）
コンテンツは、C:¥IP_DATA3_HOST　フォルダ内に保存してください。IP_DATA3_HOSTフォルダ内であれば、新規にフォルダを作成して管理することも可能です。
但し、.IPA, .IPB, .IPC　ファイルはIP_DATA3_HOST　フ

（注意２）
コンテンツ名称は、半角英数字のみを使用してください。
ひらがな、カタカナ、漢字、スペースは使用できません。

サムネイルビューアーにコンテンツを並べると、静止画はデフォルトでサムネイル表示されます。動画のサムネイルを確認するには「動画画像」のチェックボックスを入れください。

（補足１）
FLASHコンテンツは、サムネイル画像に生成できません。

② 再生時間の調整

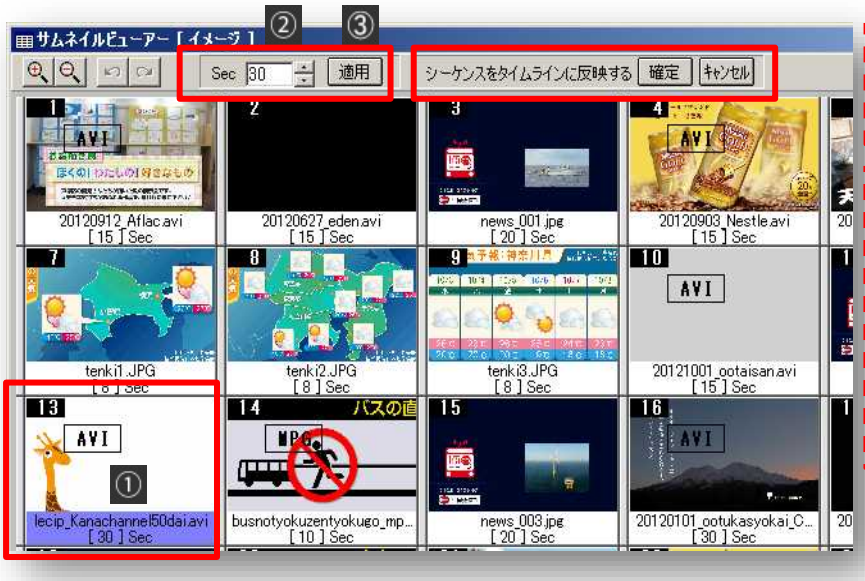
コンテンツの再生時間は、イメージ画像の下に[　]内に表示しています。
再生時間を変更する場合は、

i. コンテンツを選択、
ii. 再生長を設定、
iii. 適用

することで変更できます。設定変更後は、

iv. 「シーケンスをタイムラインに反映する」

を確定して終了してください。



（注意１）

トラック長を超える設定はできません。

（注意２）

トラック長に満たない場合、編成の最後のコンテンツがトラック長に合わせて自動調整しますので、注意してください。

そのような場合、最後のコンテンツが適切な長さになるよう、トラック長を再設定してください。

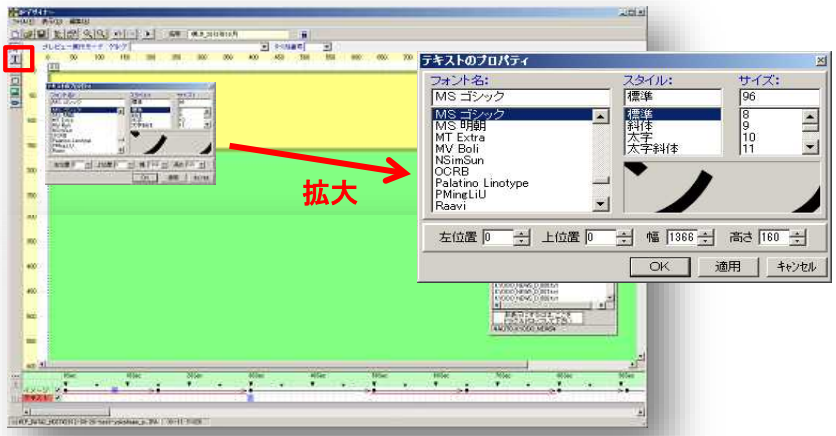
4.5 編成設定（テロップの挿入）

デザイナー画面で、ニュース画面等を再生するテロップを設定します。

1) テロップエリアの作成

オブジェクトから「文字入力（ T ）」を選択し、キャンパスエリアをクリックすると、「テキストのプロパティ」画面が表示されます（初期カラー　黄色）。「テキストのプロパティ」画面の設定を【左位置：０】【上位置：０】【幅：１３６６】【高さ：１６０】【サイズ：９６】（例）に設定します。適用すると、テロップの表示有効エリアが黄色になります

表示エリアの移動はテキスト表示エリアにマウスを持っていき、左押し状態でも調整可能です。サイズの変更はテキスト表示エリアの境界線にマウスを持っていき、左押し状態で調整します。



（補足１）

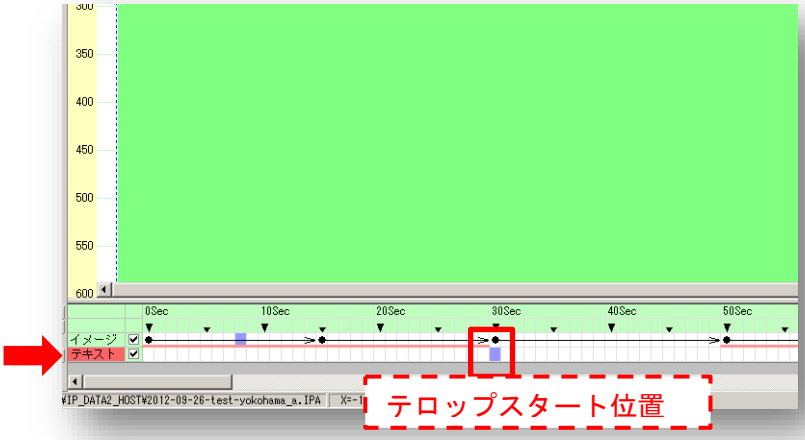
フォントのサイズ設定は、キーボードから“９６”（例）を入力します。

（補足２）

フォント名、スタイルの変更は適宜設定できます。

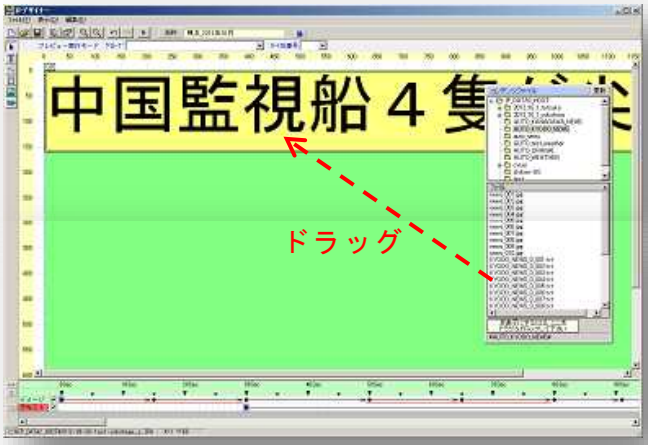
2)　テロップのスタート

デザイナー画面のタイムライン（テキスト）で、テロップ表示のスタート位置をクリックします。



3)　テロップ文字の登録

テロップで表示するテキストファイル（拡張子は.txt）をコンテンツファイル一覧から、テロップ表示エリアにドラッグ&ドロップします。ドラッグ＆ドロップするとテキストエリアに文字が表示されます。



（補足）

1)　テキストニュース等の自動更新は、『IP_DATA3_HOST』フォルダ内に『AUTO_****』と名付けられたAUTOフォルダを作成し、そこに、テキストファイルで保存します。

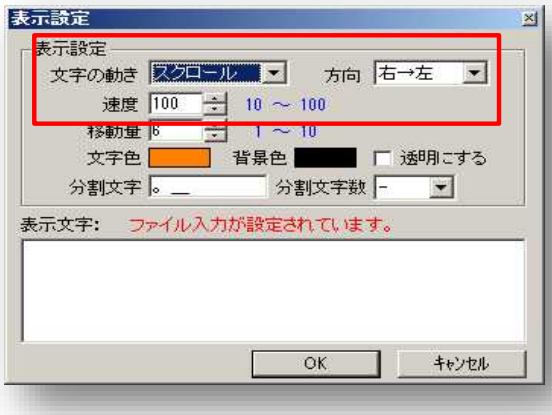
2)　自動更新が無い場合は、『IP_DATA3_HOST』フォルダ内に直接保存しても構いません。

3)　テキストのファイル名は半角の英数字で設定します。
****_annai_20170202.txt（例）

4)　テキストは「表示設定」画面の表示文字エリアに直接入力もできます。

4)　テロップの表示設定

テロップ表示エリアで右クリックし、「表示設定」を選択すると『表示設定』画面が表示されます。「表示設定」画面の設定を【文字の動き：スクロール】【速度：１００】【移動量：６】【方向：右→左】に設定します。



（注意１）

「透明にする」のチェックボックスにはチェックを入れないでください。

表示文字を入力すると、手入力した文字が優先されます。

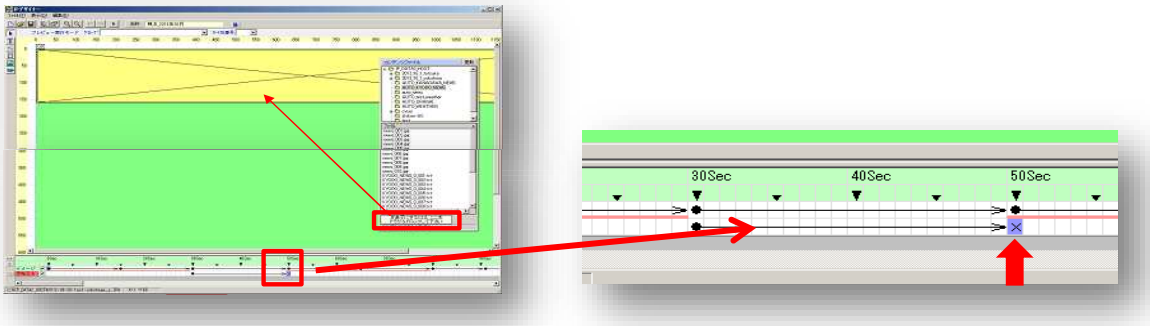
（補足１）

文字色、背景色は適宜設定願います。

5)　テロップの終了

デザイナー画面のタイムライン（テキスト）で、テロップ表示の終了位置をクリックします。

コンテンツファイル一覧の非表示設定欄を、テロップ表示エリアにドラッグ&ドロップすると、テロップ表示リアが×印となり、タイムライン（テキスト）に反映されます。

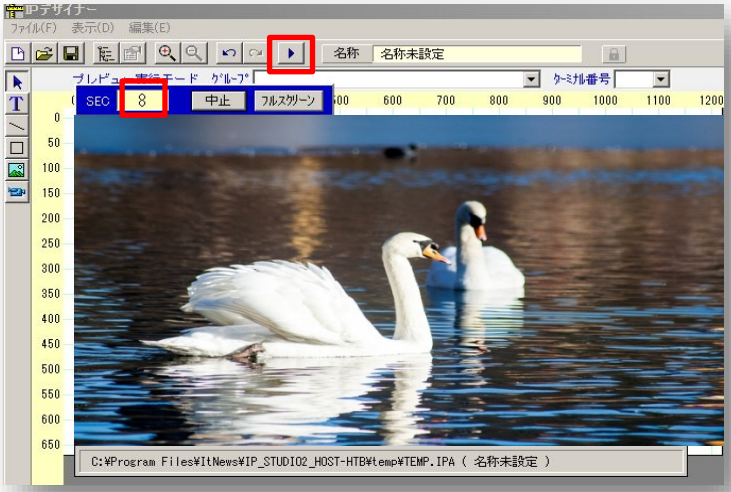


4.6　デザイナーのプレビュー

作成したスケジュールデータのプレビューができます。

操作コマンドの「プレビュー（ ▶ ）」ボタンを押すとプレビュー画面が起動し、登録した内容の確認ができます。

プレビュー画面には秒数が表示され、切り替わりタイミングの確認ができます。



タイムライン上の確認したい秒数の上で、右クリックするとメニュー表示がされ、「この時刻まで早送りしてプレビュー」することができます。

4.7　デザイナーの保存

デザイナー画面の「ファイル（F）」タブから、作成したスケジュールデータを保存します。

（補足１）

保存データファイルの拡張子は.IPAとなります。

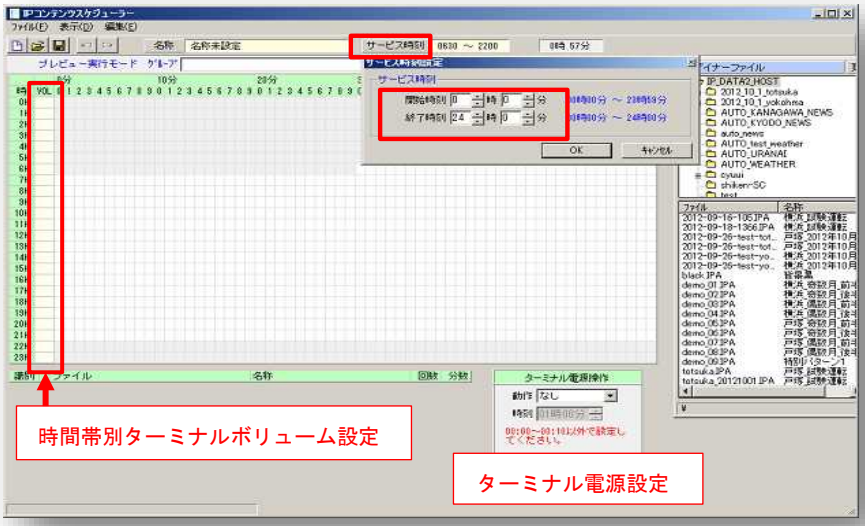
（注意１）

データファイル名称は、半角英数字で保存してください。

4.8　1日の放映スケジュールの作成

1)　サービス時刻の設定

コンテンツスケジューラー画面の「サービス時刻」ボタンを押すと、「サービス時刻設定」画面が表示されます。ご利用の環境に合わせてサービス時刻の設定を【開始時刻：0時0分】【終了時刻：24時 0分】（例）に変更します。



2)　ターミナル電源設定

ご利用の環境に合わせてターミナル電源操作の設定、「なし」「再起動」「シャットダウン」ができます。

（例）【動作：シャットダウン】【時刻：01 時 30 分】に設定します。

3)　ターミナルボリューム設定

時間帯別に各ターミナルの音量を設定できます。
時間項目の右横にある「VOL」をクリックし、「0」~「100」の間でレベル設定します。

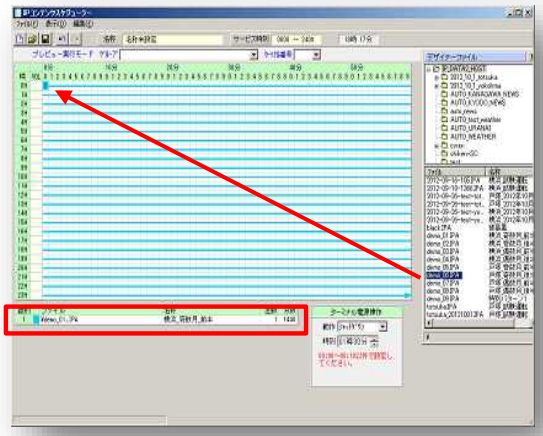
尚、マスターボリュームの設定はIP_STUDIOの「メイン画面」で、「 モニター 」から、「ターミナルログ」タブでグループ（又はモニター）を選択し、「ターミナル操作」ボタンを押します。詳細は「6.4」章、ターミナル操作をご覧ください。

「ターミナル操作」画面で、「■指示する動作を選んでください」のプルダウン画面から「#マスターボリューム設定」を選択し、ボリューム値を設定してください。（初期値は100）
最後に、「ターミナルへの指示をサーバーにアップロード」ボタンを押せば完了です。

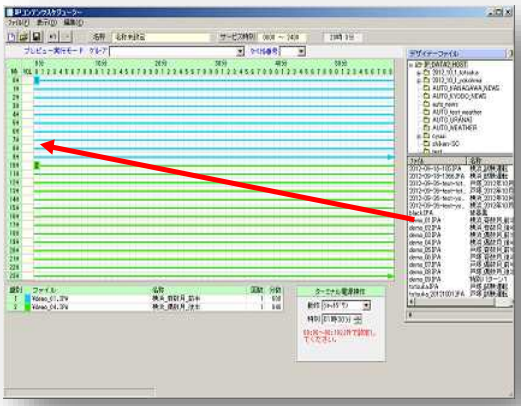
4)　１日の番組編成の設定（基本）

「デザイナーファイル一覧」から、スケジュール登録するデザイナーデータ（拡張子 .IPA）を開始時刻位置にドラッグ＆ドロップします。設定すると自動で繰り返し放映の設定がされます。

設定したデータ情報は「スケジュール一覧」に表示されます。



指定時刻から番組編成を変更する場合は、別のデザイナーデータを次の開始時刻位置にドラッグ＆ドロップします。追加されたデザイナーは別の識別カラーで表示されます。



※　　コンテンツ集計機能について：

特定のコンテンツが1日で何回、トータルで何時間放映（配信）されるかといったことが重要になる広告配信事業者にとっては重宝する機能が搭載されています。

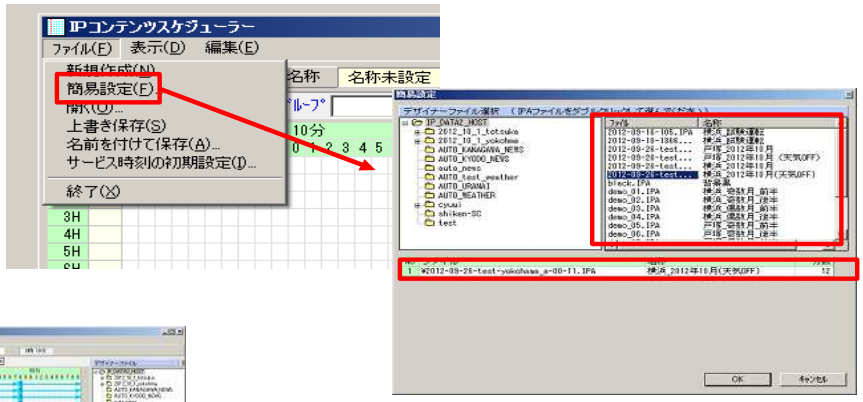
※　時間帯別音量調整機能について：

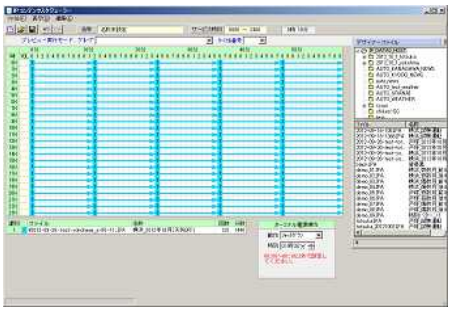
パブリックな場所では音量はシビアな問題です。IP_STUDIOでは、遠隔地の音量の調整の要望などから現地に行かなくても音量を時間帯別に調整する機能を搭載しております。

5)　番組編成の設定（簡易スケジュール）

簡易なスケジュール設定が可能です。

ファイルメニューから「簡易設定」を選択すると、簡易設定画面が表示されます。デザイナーファイル一覧から登録するデータをダブルクリックすると、スケジュール一覧に登録されます。「OK」ボタンを押すと、選択された番組編成が、繰り返し放映設定されます。単純なスケジュール編成の場合に利用します



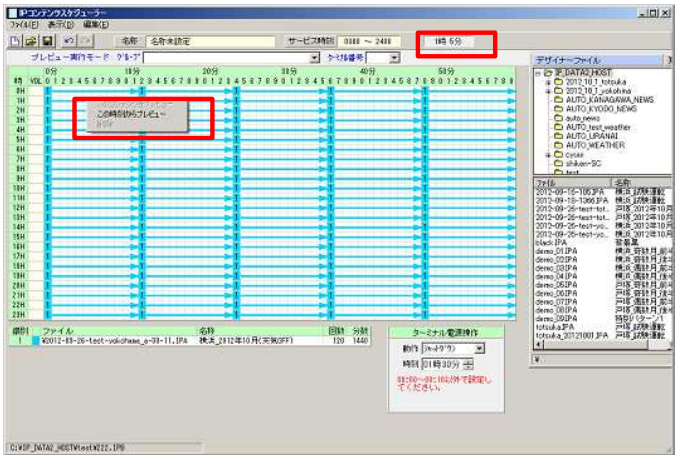


（注意１）

簡易設定は、分単位の設定になるため、オーバーした秒数は、切り捨てとなります。

6)　コンテンツスケジューラーのプレビュー

コンテンツスケジューラーに設定した番組編成のプレビューができます。プレビューする時刻で右クリックし、「この時刻からのプレビュー」を選択するとプレビュー確認が出来ます。プレビューする時刻は、スケジュール時刻表示で確認できます。



7)　コンテンツスケジューラーの保存

コンテンツスケジューラー画面の「ファイル操作」から、作成した 1 日の放映スケジュールデータを保存します。

（補足１）

保存データの拡張子は .IPBとなりま

（注意１）

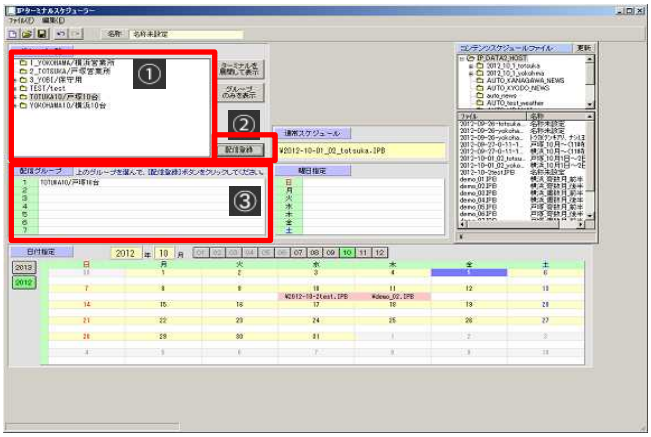
保存データのファイル名は、半角英数字で設定してください。

4.9　デジタルサイネージの端末（STB）への個別スケジュール設定

1)　配信グループ指定

端末への配信スケジュールを設定するにあたり、配信グループの指定をします。手順は以下の通りとなります。

① 配信グループを選択
② 配信登録ボタンを押す。
③ 配信グループが表示されます。



（注意１）

個別スケジュール設定をするにあたり、事前に配信グループの登録を終えておいてください。

配信グループの登録方法については、第8.2章の「配信グループ・ターミナル登録」を参照してください。

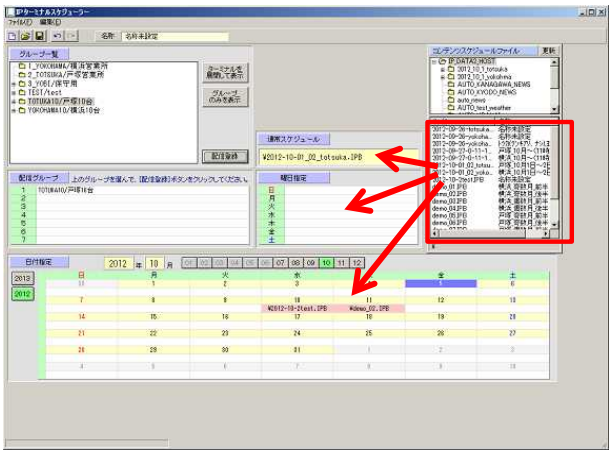
（補足２）

③で配信グループを間違って設定した場合、マウスの右クリックし、「削除」を押してください。

2)　スケジュール設定

ターミナルケジューラー画面の「コンテンツスケジュールファイル」から、スケジュール登録するファイルを選択し、通常スケジュール欄にドラッグ＆ドロップします。

曜日指定がある場合は、曜日指定欄の指定曜日にファイルをドラッグ＆ドロップします。
日付指定がある場合は、日付指定欄の指定日にファイルをドラッグ＆ドロップします。



（補足）
スケジュールの優先順位は
１．　日付
２．　曜日
３．　通常スケジュール
となります。

3)　ターミナルスケジューラーの保存

ターミナルケジューラー画面の「ファイル操作」から、STB に配信登録するスケジュールデータを保存します。

（補足）
保存データの拡張子は .IPC となります。

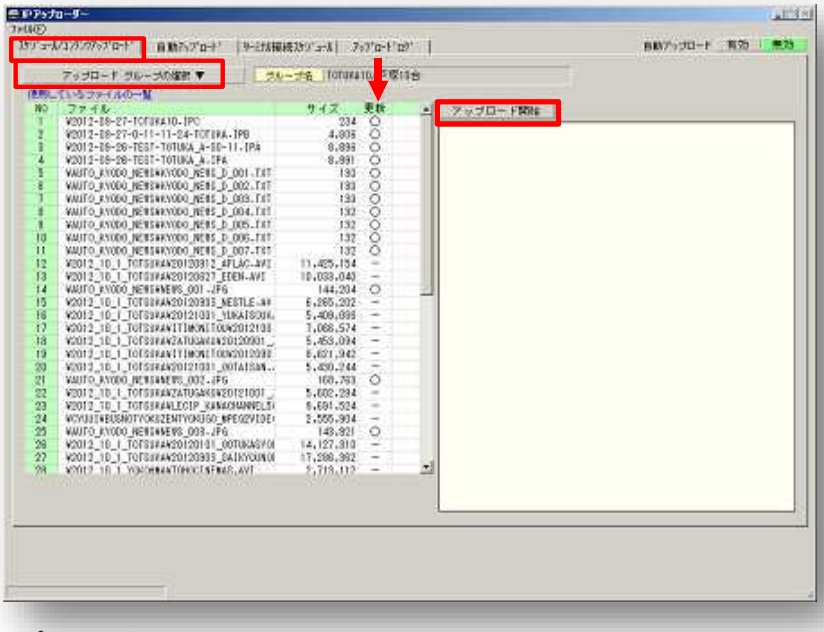
（注意１）
保存データは、半角英数字で保存してください。

4.10　サーバーへのアップロード（手動アップロード）

1)　アップロードグループの選択

「アップロード」画面の「スケジュール/コンテンツのアップロード」タブを選択しから、サーバーアップロード操作するグループを選択します。グループ選択すると、使用しているファイル一覧が表示されます。

データの更新がされているフィルは、更新欄に“○”が表示されます。

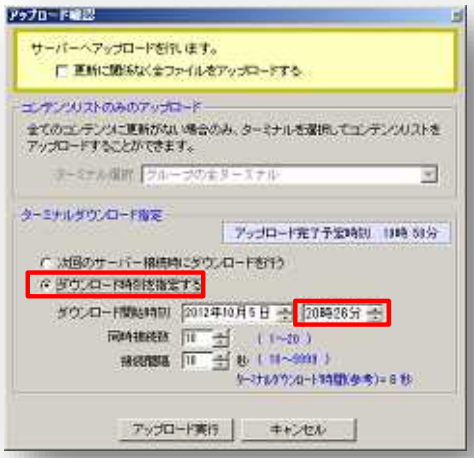


2)　アップロードの開始

アップローダー画面の「アップロード開始」ボタンを押すと、「アップロード確認」画面が表示されます。

「ターミナルダウンロード指定」欄の「ダウンロード時刻を指定する」のラジオボタンを選択し、アップロードを実行すると、指定した時刻にサーバーへのアップロードが開始されます。

即時更新を行う場合、ダウンロードの開始時間に現在の時刻を手入力してください。



※　サーバーは初期設定時に設定します。

5. 番組編成の変更･修正

現在、放映中の番組編成の変更･修正を行う場合、既存のデータを読み出して更新（変更･修正）することができます。

5.1　デザイナーの選択

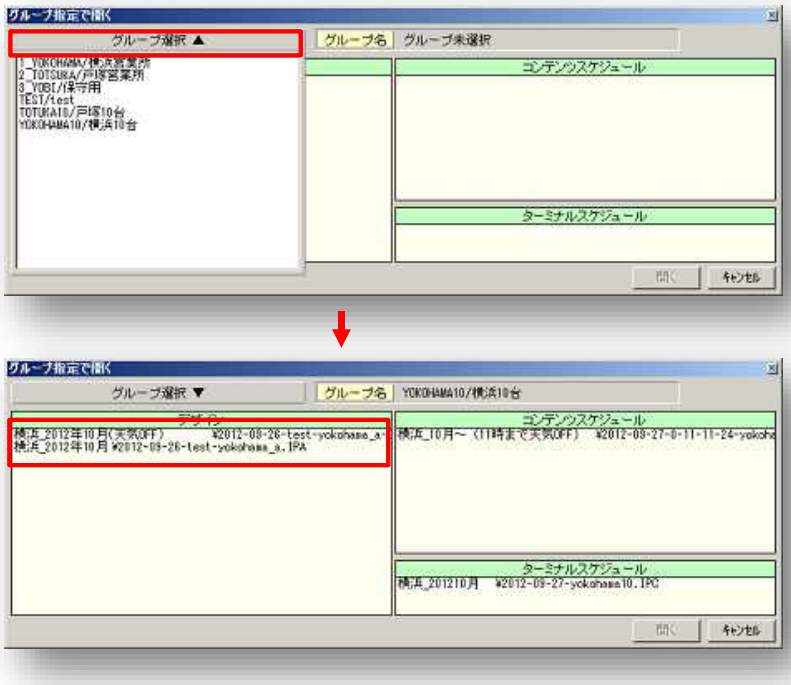
メイン画面の「グループ指定で開く」タブを押すと「グループ指定で開く」画面が表示されます。

グループ選択を押し、データ更新（変更･修正など）するグループを選択すると「デザイン」「コンテンツスケジュール」「ターミナルスケジュール」欄に使用しているファイルが表示されます。

番組編成の修正を行う場合は「デザイン」を選択すると、デザイナー画面が表示されます。

1日のスケジュールを変更したい場合は「コンテンツスケジュール」のファイルを選択します。

ターミナルのスケジュールを変更したい場合は「ターミナルスケジュール」のファイルを選択します。



（重要）

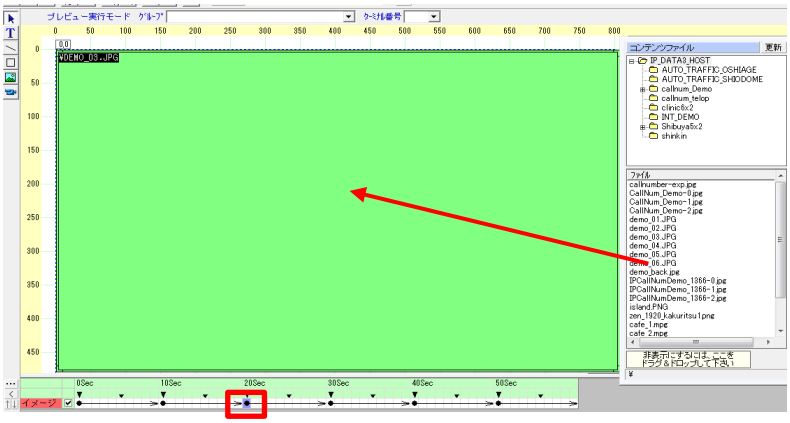
ターミナルスケジュール
（拡張子 .IPC）データは、各グループに１つのみです

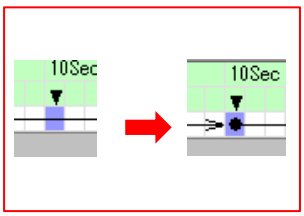
コンテンツスケジュール
（拡張子 .IPB）データは、編成を追加設定している場合に複数表示されます。

5.2　編成データ更新･修正（コンテンツ入替）

1)　コンテンツファイルからドラッグ&ドロップ

- 入れ替えたいコンテンツのイメージオブジェクトをクリックし、アクティブ（二重枠）にします。この時タイムラインの「イメージ」文字の背景が赤色になります。
- 変更したいコンテンツの時間をクリックすると、紫色になります。
- 入替えたいコンテンツをコンテンツリストからイメージオブジェクトエリアにドラッグ＆ドロップします。



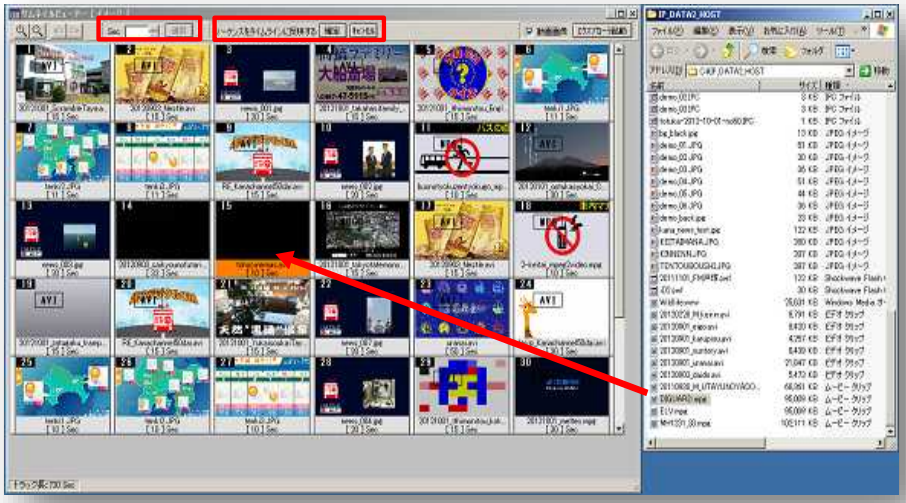


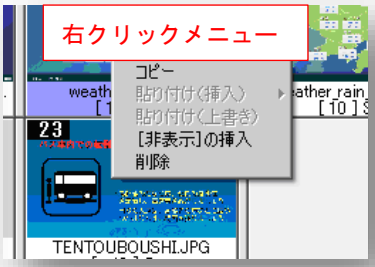
2)　ビューエディタ利用時

データを修正するデザイナー画面から、「ビューエディタ」を起動します。（ビューエディタの起動は4.3.2章を参照）コンテンツフォルダーから差し替えするデータの上にドラッグ＆ドロップするとデータ入替ができます。上書き箇所はオレンジ色で表示されます。上書き後、再生時間の調整をしてください。

サムネイル上のコンテンツは、右クリックするとデータの「コピー」「貼り付け」「削除」の操作が行えます。

データ修正後は、「シーケンスをタイムラインに反映する」を実行下さい。





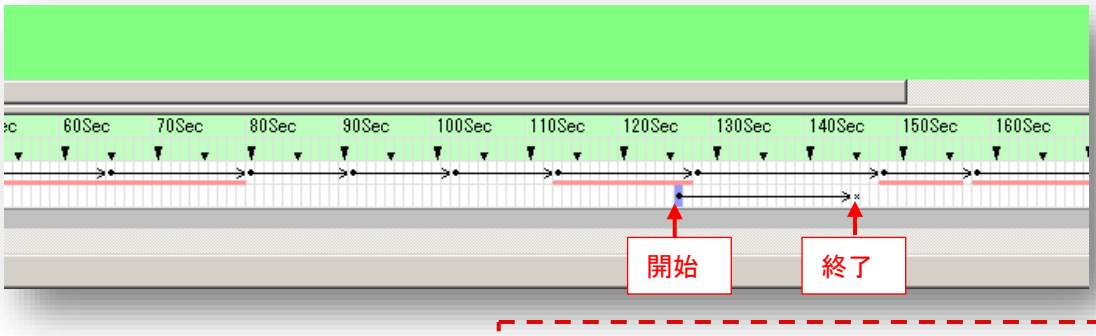
（注意１）

番組編成の最後尾のコンテンツデータはトラック長に合わせて再生時間を自動調整行います。

5.3　タイムラインの確認（テロップ開始/終了の位置確認）

番組編成後は、タイムラインのテロップ開始と終了位置の確認を行ってください。

修正が発生した場合、開始/終了位置をクリックすると、マウスカーソルが「↔」になりますで、設定時間に移動してください。



（注意１）

テロップの開始/終了位置がニュース写真の放映時間とずれると、前後のコンテンツデータに重なり放映することになります。

5.4　サーバーへのアップロード

デザイナーデータの保存後、「4.10 サーバーへのアップロード」 手順に従い、サーバーへのアップロードを行ってください。

6. 端末監視（モニター機能）

端末の稼働情報を監視・ログ入手、ターミナル操作ができます。
メイン画面の「モニター」タブを押し「IPモニター」を起動してください。

6.1　稼働ログ情報取得設定

「ファイル（F）」をクリックし、「モニター設定」画面から、稼働ログ取得間隔、保存期間のログ情報設定を行います。

また、一定時間更新が無い場合、ターミナル番号表示の背景色を変える時間設定ができます。

6.2　接続情報

「ターミナル一覧」　グループ名、ターミナル番号で各端末の接続の有無のみを表示します。

「詳細一覧」　は、1行1端末で、状況の詳細を表示します。

表示内容：

- システム時刻（最後にアクセスしたSTBの内臓時刻）
- プレーヤー時刻（STBのIP_STUDIOが起動した時刻）
- プレーヤーマネージャー起動時刻
- 最後にダウンロードを行った日時
- 表示（モニター状況）
- 表示装置（表示機に最後にアクセスした日時
- ID(ターミナル番号)
- 電源（表示機の電源状況）
- 診断（診断結果）

6.3　ターミナルログ

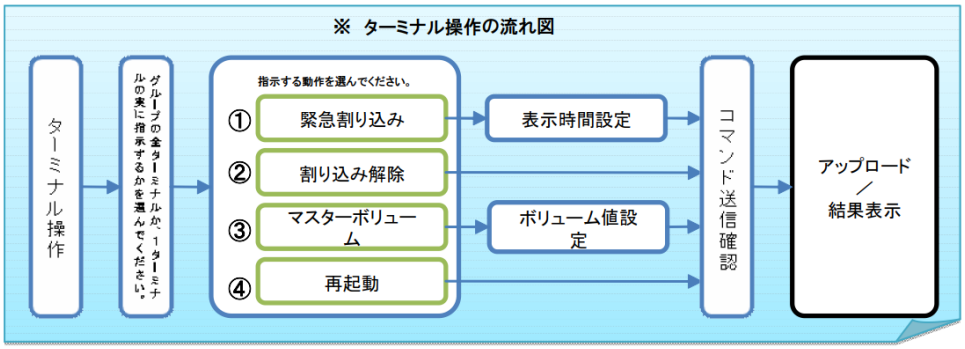
✧ 各端末のログを過去に遡って確認できます。ログの保存期間設定は「6.1章」を参照してください。

✧ 「ターミナル操作」から、各グループ又は端末に対し、“再起動”、“割込み”、“マスターボリューム”設定などのコマンドを送ることができます。

✧ ログ日付のプルダウンボタンから日付を指定することもできます。

6.4　ターミナル操作

ホストスケジューラーよりターミナル　（端末）　に対して遠隔コマンド操作を行います。
操作は、　緊急割り込み情報配信、　解除、　マスターボリューム設定、　再起動が可能です。



1)　操作手順

① IPモニター画面からターミナルログボタンを押してください。
② 操作したいグループ又はターミナルを選択します。
③ 「ターミナル操作」ボタンを押し、「ターミナル操作」画面を表示します。
④ グループ、又はターミナルを選択し、指示する動作をプルダウンメニューから選びます。

6.5　割込み操作

ターミナル操作を利用し、通常スケジュールに割り込みをすることができます。緊急の時に非常に役立つ機能です。

1)　事前設定

① 割込み用画像（又は動画）の作成
② 割込み用スケジュールファイル作成（拡張子 .IPA）
③ 割込み用ファイル格納フォルダを「IP_DATA3_HOST」直下に作成します。
④ フォルダ名は半角英数字で「INT_**」としてください。「****」の名称は“配信グループID”となります。**

2)　割込みファイルのアップロード

① メイン画面の「モニター」タブを押下し、「IPモニタ」画面を開きます。次に「ターミナルログ」画面を開き、割込みを行いたいグループ、又は端末を選択します。

（重要！）
前項１）の事前設定　④のフォルダー名の****部分と、割込みを行いたいグループID の名称は同一でなくてはなりません。

② 画面右下の「ターミナル操作」ボタンを押します。

③ 「ターミナル操作」画面で、グループのターミナル全てか、単一ターミナルかを選択。
尚、単一ターミナルにするには、①でターミナルを指定する必要があります。

④ 「■指示する動作を選んでください」のプルダウンメニューから、割込み用スケジュールファイルを選択します。（ファイル名　****.IPA）

⑤ 割込み画面の表示時間を指定します。デフォルトは10分間となっております。
表示時間を変えたい時は「表示時間設定」をクリックし、詳細設定を行います。

⑥ 時間設定を完了後、「ターミナルへの指示をサーバーにアップロード」ボタンを押し、完了です。

⑦ 5分から10分後に端末に割込み用のコンテンツが表示されます。

7. アップロード

- スケジューラーからサーバーへコンテンツファイル（拡張子 .jpg .png .mpg .wmv等）、デザイナーファイル（拡張子 .IPA）、コンテンツスケジュールファイル（拡張子 .IPB）、ターミナルスケジュールファイル（拡張子 .IPC）等をアップロードできます。
- アップロードのタイプには、更新時に手動でアップする手動更新と、「ニュース」、「天気予報」などのように、自動的に更新されるコンテンツをアップロードする自動更新があります。
- アップロード設定は、メイン画面の「アップロード」タブをクリックし、「IPアップローダ―」を起動します。

7.1　手動アップロード

手動アップロードの手順は以下の通りとなります。

1) 「デザイナー」「コンテンツスケジューラー」「ターミナルスケジューラー」を起動し、スケジュールを新規・変更します。

2) 「スケジュール/コンテンツアップロード」タブをクリックし、「アップロード　グループの選択　▼」から、アップロードしたいグループを選択します。

3) 更新されたファイルがある場合、更新項目が“○”となっております。

4) 「アップロード開始」ボタンを押し、ターミナルダウンロード指定をした後、「ダウンロード

実行」ボタンを押してください。

5) 更新されていないファイルもアップロードするには、「更新に関係なく全ファイルをアップロードする」にチェックをいれてください。

7.2 自動アップロード

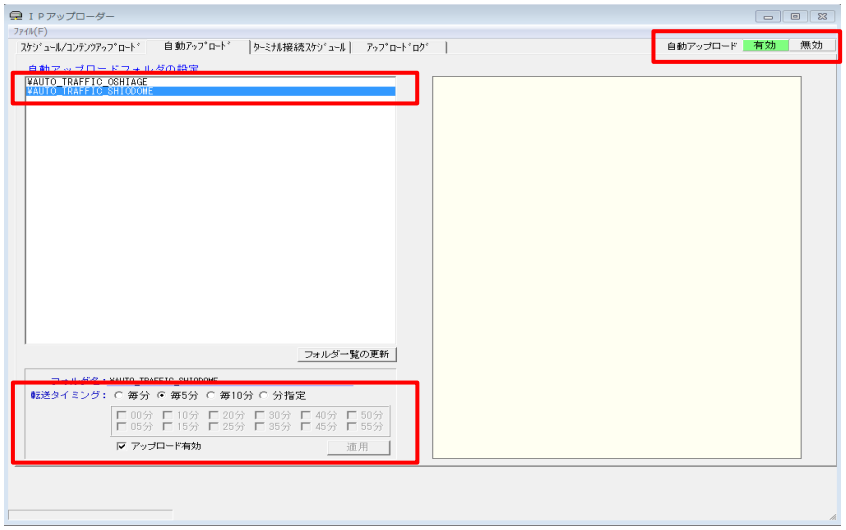
「天気」「ニュース」等、定期的にアップするコンテンツがある場合に利用します。

1) 事前準備：

「IP_DATA3_HOST」（C:¥IP_DATA3_HOST）フォルダ内に自動アップロードコンテンツ用フォルダを作成してください。フォルダ名は必ず「AUTO_****」（****は名称）としてください。
自動アップロード用コンテンツは、「AUTO_****」内に格納してください。

2) 自動アップロード設定手順

① 「IPアップローダー」画面の右上の“自動アップロード”を有効にします。
② 自動アップロードタブをクリックします。自動アップロードフォルダを指定します。
③ 「アップロード有効」ボタンを押し、有効化します。
④ 転送タイミング設定を行います。頻度が少ない場合、「分指定」を選択し、アップロードする時間を選んでください（複数選択可能）
⑤ 摘用ボタンを押し、完了です。



（注意１）

「モニター」と「アップロード」画面はIP_STUDIOが起動中は閉じることはできず、最小化ボタンのみを受け付けます。
また、メイン画面下に必ずタブが表示されております。

（注意２）

自動アップロードは、IP_STUDIOが立ち上がっている状態で初めて機能します。

8. メンテナンス

メンテナンスは、 基本情報操作として、 ［ターミナル登録］、 ［ファイルの関連を検査］、［バージョン情報］の３つの機能と、 サーバーターミナル操作として、［コマンド送信］、［ターミナルプログラムアップロード］、［未使用ファイルの検索］、「サーバーコンテンツのダウンロード」 の３つの機能を提供しています。

8.1 メンテナンス画面の起動

IP_STUDIOのメイン画面から、メインメニューの「メンテナンス」ボタンをクリックし、「IPメンテナンス」画面を開きます。

8.2　配信グループ、ターミナルの登録

1)　配信グループ、ターミナルの登録手順

グループの作成とターミナル （プレーヤー端末） に「グループ名」と「ターミナル番号」を割り当てます。
ターミナルにスケジュールの割り当てを行う際に必要となります。

① 「ターミナル登録」ボタンをクリックし、「ターミナル登録」画面を開きます。
② グループの登録
- グループ項目の「登録」を押します。
- 「グループ設定」画面で「グループID」「グループ名」を入力します。
  グループIDは半角のみ、英語又は数字となります。
- グループ名は日本語でも構いませぐん。
- 記入後、OKボタンを押して、登録完了です。

③ ターミナルの登録
- ターミナルを追加したいグループを指定後、ターミナル項目の「登録」を押します。
- 「ターミナル設定」画面でターミナル番号とターミナル名を記入します。
  ※　グループ名を確認してください。
  ※　ターミナル番号は重複できません。
- 記入後、OKボタンを押して、登録完了です。

④ グループ、ターミナルの登録完了後、「ターミナル登録」画面でOKボタンを押し、完了です。

2)　グループ、ターミナルの修正、削除手順

グループ、ターミナルの「修正」、「削除」手順は、グループ、又はターミナルを選択後、「修正」、又は「削除」ボタンを押し、登録手順と同様に進みます。

8.3　ファイルの関連を調査

IP_STUDIO ホストで利用するローカルのコンテンツと各スケジュールファイルの整合性をチェックします。

① 画面の立ち上げ
「ファイルの関連を検査」ボタンをクリックし、「ファイルの関連を検査」画面を立ち上げます。

② 「未使用ファイルを表示」にチェックを付けない場合は、整合性チェックのみ行います。

③ 「未使用ファイルを表示」にチェックを付けた場合は、整合性チェック＋スケジュールファイルで未使用コンテンツファイルの調査を行います。

8.4　バージョン情報

ご利用の IP_STUDIO のプログラムバージョンを一覧表示します。
「バージョン情報」画面で「ファイルに保存」をクリックし、バージョン情報をテキストファイルで保存することもできます。

8.5　コマンド送信

ターミナルの設定ファイル／プログラムのアップデート指示を行います。

「# ターミナル設定ファイル取得」・・・ターミナル上の「ipterm.ini」ファイルをサーバーにバックアップします。

「# ターミナル基本設定ファイル更新」・・・ サーバー上の「ipterm.ini」にてターミナル上の同一ファイルを更新します。

「# ターミナル接続サーバー設定ファイル更新」・・・ サーバー上の「ips_sv.dat」にてターミナル上の同一ファイルを更新します。

※　このコマンドを実行する際は、 事前に FTP クライアントで、 ファイルをアップロードしてください。

「# ターミナルプログラム更新」・・・サーバー上にあるターミナルプログラムで、
指定のターミナルプログラムを更新します。

※　このコマンドを実行する際は、 事前に 「ターミナルプログラムアップロード」 を行ってください。

（注意）

ターミナルの設定ファイルやプログラムの更新は、 操作ミスをしてしまうと、 ターミナルが動作しなくなる可能性がございます。 復旧対策を行った上でのご使用をご検討くださ

8.6　ターミナルプログラムアップデート

サーバーにアップデートを行うターミナル用のソフトを転送します。
ターミナルプログラムは、 ＨＯＳＴプログラムと同じフォルダ内にあるものをアップロードします。

（注意）

アップロード対象のプログラムは、「IPHOST.INI」内の[TERM_PRG]にて指定されています。

8.7　未使用ファイルの検索

サーバー上にローカルに存在しないファイルを検索します。

「ファイルの関連を検査」 と併せて定期的にチェックを行い、 ＦＴＰクライアント等を利用して不要なファイルを極力削除するよう心がけましょう。

9. サーバー設定

P_STUDIO で使用する FTP サーバー情報を設定します。
このプログラムは、 IP_STUDIO のメイン画面から起動することはできません。
個別に ips3_SET.exe アイコンをダブルクリックして起動してください。

参考：ips_SET.exeはIP_STUDIO3_HOSTフォルダ(c:¥program files(x86)¥itnews¥IP_STUDIO3_HOST内に保存されております。（Windows10の場合）

9.1　データフォルダ設定

デザイン、スケジュール、ターミナルスケジュール、コンテンツを格納するフォルダを指定します。
デフォルトは「C:¥IP_DATA3_HOST」となっております。

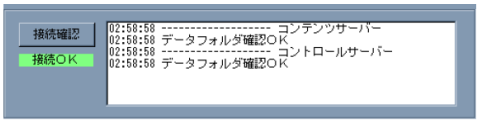
9.2　サーバー設定

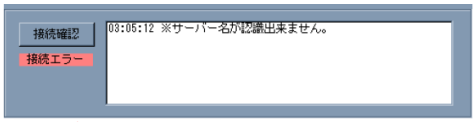
データーアップロード先のサーバーの「ホストアドレス」「ユーザーID」「パスワード」「PASVモード」「データフォルダ」を設定します。

① コンテンツサーバー設定
- 「ホストアドレス」「ユーザーID」「パスワード」は指定されたものをお使いください。
- 「PASVモード」はチェックを入れてください。
- 「データフォルダ」はサーバー上のフォルダを指定します。

② コンテンツサーバー設定完了後、コントロールサーバー設定を行います。
安全が確保されている場合は、コンテンツサーバーと同じ内容をセットします。

③ サーバー設定完了後、「サーバー接続確認」ボタンを押し、接続確認を行います。





設定が有効かチェックします。
エラーが出る場合は設定を見直してください。

（補足１）
「コンテンツサーバー」 は、 コンテンツやスケジュールファイル等を保存するサーバーです。
ターミナルからは、 参照のみ可能なようにユー

（補足２）
「コントロールサーバー」 は、 ターミナルログや、 システムで使用するファイル等が保存されるサーバーです。
ホスト ・ ターミナル共に更新可能なようにユーザー ID の設定を行ってください。

10. IP_STUDIO　機能一覧

IP_STUDIOに搭載されている機能一覧です。

■	**画面編集機能**	
•	画像の位置、サイズ設定　　（マウス操作によるドラッグ&ドロップでレイアウト）	○
•	自由なレイアウト設計　　（静止画、動画混在可能、動画アスペクト変更）	○
•	イメージオブジェクトボックスのローテート	○
•	レイアウト可能な最大数（理論値）イメージ　50 個、テキスト　50 個	○
•	タイムライン タイムトラック（15 秒～3600 秒まで）	○
•	複数の mpeg 再生可能	○
•	mpeg 音量調整	○
•	遷移効果（エフェクト）　　４００以上	○
•	リアルタイムプレビュー機能/ﾌﾙｽｸﾘｰﾝ表示機能	○
•	位置の微調整 ピクセル単位（数値入力可能）	○
•	コンテンツの位置ロックオン/オフ	○
•	タイムライン表示と連動で表示タイミングの調整	○
•	動画再生の際のデコーダーによる誤差微調整	○
•	複数コンテンツの一括設定機能	○
•	デザイナー画面の表示拡大／縮小	○
•	編集中のオブジェクトの表示／非表示切り替え	○
•	ＷＥＢトリミング機能（表示範囲指定可能）	○
•	複数ＷＥＢ表示機能	○
■	**スケジュール機能**	
•	時間単位 秒	○
•	期間 ３ケ月（自動更新）	○
•	指定単位 日、週、特定曜日	○
•	サービス時刻指定	○
•	コンテンツ毎の総表示回数、総表示時間統計シュミレーション機能	○
•	プレーヤー個別コンテンツ	○
•	時計時刻でのプレビュー	○
•	時間帯コピー, 指定時刻（定時配信）などの編集機能	○
•	コンテンツ（番組）の色識別指定機能	○
•	内蔵時計調整機能	○
■	**配信機能（端末へのコンテンツ、スケジュール配信）**	
•	配信は１台毎でもグループ毎でも可能	○
•	自動アップロード機能（時間毎指定可）	○
•	アップロード時間指定機能（実施時間を指定可）	○
■	**プレーヤー監視機能**	
•	プレーヤー常時監視機能	○
•	プレーヤーのログ（動作記録）表示機能	○
•	プレーヤープログラム更新機能	○
•	プレーヤー再起動・停止機能/ファイル削除	○
•	プレーヤー配信数 9999 台（理論値）	○
•	プレーヤー別稼働状況報告タイミング自動スケジュール	○
■	**音量調整機能(遠隔操作で音量を調整)**	
•	時間毎の音量調整機能	○
•	マスターボリューム調整機能	○

■　表示機能	
•　ピクチャーインピクチャー　（動画の上に静止画）	○
•　ＷＥＢの上に動画、静止画のオーバーレイ再生	○
•　テロップ 複数行可、背景透過可 （スクロール(*1)･ブランキング等、位置、方向、色、サイズ、速度指定）	○
•　最大表示解像度 4200X3000（理論値）	○
•　複数パネル同時表示（パネル、グラフィックボードに依存）	○
•　複数動画再生	○
•　画像出力形式	RGB/DVI-I
■　割込み機能（緊急配信機能）	
•　緊急割込（差込）表示機能　　テロップ、静止画、動画の緊急表示が可能	○
•　配信時間指定(即時、開始･終了時間指定）	○
	○
■　その他機能	
•　プレーヤーとサーバー接続間隔設定	○
•　プレーヤーのリセットの自動化機能	○
•　プレーヤーコンテンツ自動消去	○
•　プレーヤーの自動回復機能（WatchDog）	○
•　使用する文字コード	ｼﾌﾄ JIS
•　コンテンツと監視用サーバーを分割管理	○
•　端末ディスプレイ　表示位置設定	○
■　その他	
•　ログ吸い上げの効率化	○(*3)
•　データ保存場所	HDD(*4)
•　LAN 未接続時のタイマー代替え機能	○
■　表示機器監視機能	
•　表示装置状態監視機能	○
•　ＷＥＢ監視機能（オプション）　　プレーヤーの状態表示、表示機器の状態表示	△
■　音量調整機能(遠隔操作で音量を調整)	
•　時間毎の音量調整機能	△
•　マスターボリューム調整機能	○

(*1) 動画の上にテロップを重ねる場合は、 文字がちらつく、 テロップの背景が正しく表示されない、 透過色が設定できない等の問題が発生する恐れがございます。 あらかじめご了承ください。

(*2) 最低サイクルは５分です。 プレーヤー台数によってはそれ以上の時間を必要とする場合がございます。

(*3) ログファイルをサーバーにて圧縮してスケジューラに吸い上げを行います。ご利用の際には事前に、 サーバー上で 「HTTP サービス」 と 「perl による CGI スクリプト」 が動作することをご確認ください。

(*4) OS とは別のパーテーションに保存することを推奨します。 （当構成では D ドライブ）

11. コンテンツ対応表

■ 対応ファイル/表示機能		
	・ 動画　※ コーデックで対応、環境により下記全てが対応できるわけではございません。	○
	Mpeg1、Mpeg2（mpg、m2ｐ）	○
	Mpeg4　※1	△
	Microsoft WMV	○
	Microsoft PowerPoint　※2	○
	AVI	○
	Mo（モビクリップエンド）	△
	・ 静止画	
	JPEG	○
	PNG	○
	□ 音楽	
	Mp3	○
	□ テキスト	○
	□ WEB（表示範囲指定可能）	○
○ 拡張機能		
	□ 定位更新コンテンツの自動取得	○
	□ 遠隔コンテンツ更新（オプション）	△
	□ 外部I/O連携機能（オプション）	△
	□ 外部ソフトウェア配信･起動（オプション）	△

※1　拡張子を .mpgに変更してご使用ください。
※2　WMVに変換してご使用ください。
※3　アクトイマジン社製ソフトウェア ・ ビデオ ・ コーデック 「モビクリップ」 実装時に利用可能です。
　　ご利用には別途ご契約が必要となります。

≪オプションのご説明≫

■定期更新コンテンツの自動取得　　ニュース ・ 天気予報などのコンテンツをスケジューラーに渡します。

■遠隔コンテンツ更新　　スケジュールを変更せずに、 コンテンツの入れ替えが手軽に行います。

■外部 I/O 連携機能　　STB の RS-232C ポートを利用して、 さまざまな機器をコントロール。
※ 機器毎に別途開発が必要になりますので、 詳しくはご相談ください。

■外部ソフトウェア配信・起動　　IP_STUDIO の配信機能を利用して、 アプリケーションを配信します。
※ ソフトウェア毎に調整が必要になりますので、 詳しくはご相談ください。